

# 造園連ながの瓦版

日本造園組合連合会長野県支部  
広報委員会  
<〒386-0027長野県上田市常盤城4丁目4-23>

## 「支部長を経験して思うこと」 有限会社 信州緑地 代表取締役 八木澤 清隆

4年間支部長を務めさせて頂きましたが、支部長のお話を頂いた時は、まさか私かと思いました。

任期中は、造園業界にとっても一大イベントでもある、全国都市緑化信州フェアが開催されました。県内にとどまらず全国から大勢の方にご来場頂き、大盛況のうちに幕を閉じました。組合員の皆様にも協働展示や庭園出展コンテストにご協力頂き、長野県の造園力を全国に示せたと思います。

4年間の任期の中で感じたことは、組合員の皆様あつての支部長であったなど。個々の力では成しえない事も、個々の力が合わさる事で成しえる。今後も長野県の造園業界の発展のために微力ながらお力添えさせて頂きます。

最後に4年間本当にお世話になりました。いい経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

## 「支部長挨拶」 造園連長野県支部長 有澤 二三明

この度、2期4年組合事業推進に御尽力いただいた八木澤前支部長の後任として就任いたしました北信分会の有澤二三明でございます。よろしく願いいたします。



昨年から蔓延しております新型コロナウイルスにより様々な活動が制限され今まで当たり前であった普段の生活ができなくなってしまいました。6月からワクチン接種が高齢者から始まり私も先日2回目の接種を受け少し安心している所です。しかしインド由来のデルタ株が感染力も強く東京はじめ関東圏でも感染が拡大してきておりオリンピックの開催を間近に控え大変心配なところです。さて、コロナ禍での組合の活動も昨年に続き分会での活動を計画していただくようお願いしており支部全体での

会議や事業は控えているところです。今後ワクチン接種の進行や感染者の状況など見ながら活動を進めて行きたいと思っています。先日第1回目の総務委員会を試験的

にリモートで開催し今後しばらくはリモートでの開催で行う予定で居ります。

組合員の皆様とともにこの難局を乗り越えアフターコロナを考え準備を進めましょう。

## 令和3年度 「技能検定」への取り組み

5月30日の日曜日、松本技術専門校の検定コートにおいて、3級の実技指導講習が行われました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、前期検定試が全休止となったこともあり、今回参加者が多くありました。中信分会の牛山造園所属 小泊達也さんがトライアルモデルとなり指導講師と各高校職員が手順を確認していました。



それを見ながら主任講師の上下伊那分会 (株)小池造園の小池健太郎さんから、工程の注意点や指導するポイントの説明があり、参加者は皆、熱心に聞いていました。

講習会后、6月19日、26日に会場の高校で技能検定3級実技試験が実施されました。今回講習会に参加した、一般社会人お二人から原稿を寄せていただきました。

### 『3級技能検定を受験して』

原田 穂 (はらだ すい)

初めに、トライアルの感想としましては、「思ったよりも難しくなさそうだな。」と思いました。頭の中で軽くイメージをして初練習に試みましたが、実際にやると想像よりも仕事がスムーズに進まず時間も出来栄も悪く試験の厳しさを痛感しました

2回目以降からは頭の中で一つ一つの作業を細かくイメージして何度も繰り返してから挑んでいました。本試験では作業中はスムーズに進んでいるなど実感していて、仕上げ作業にも予定通りの時間が使え、綺麗にできたなと思っていたのですが寸法がズレていたり、三節上がりを忘れていたりなど、まだまだ詰めが甘かったなという事を実感しました。

今回の3級試験では現場とは違った試験の難しさ、厳しさを知りまた、試験のやり方が分かりました。これらのことを活かし来年の2級、次の1級を見据えて準備をしていきたいと感じました。



### 『3級技能検定試験を受験して』

上野 輪 (うえの りん)

初めにトライアルを観たときは、少し練習すればすぐに出来るようになるだろうと思っていましたが、いざ練習を始めてみると、柱を据えるにも高さが合わなかったり縛りも緩く、柱も真っ直ぐ切るのも苦労しました。頭の中で一つ一つの作業を細かくイメージトレーニングをしたりして、万全な状態で本番を迎えましたが、当日になると、とても緊張しており、試験開始、柱を切らなければならないのに竹を切ろうとしてしまったり、墨付けを忘れかけるなどと、練習とは比べ物にならない位焦りと緊張がありました。

試験が終わり個人的には良い出来なのではないかと思いましたが、門柱の高さのミスがあり、自分の力不足を実感しました。

今回の3級試験では自分の弱点や甘い部分が浮き彫りになりました。2級、1級と

まだ試験があるので、次はこれらの事を挽回し自分の納得のいく結果を残したいと思っています。

## 『今の自分にできる事・コンテナガーデンについて』

上小分会 枝堀園 堀内 与一

昨年初春より、新型コロナウイルス感染症のため、すべての人々の生活が制限されるという事態になってしまい、春の眩い日差しを浴びて開花する桜の花見、私たち業界に直結する植物関連のイベント等がすべて中止となっていきました。

残念に思ったのは、業界の人たちだけでなく、植物の美しい姿、癒しを求めて一目みようと思っていた、地域住民の方たちが大勢いました。



春を待ちわび開花した草花をより多くの人達に見て頂き楽しんでもらいたい、厳しいこのご時世に少しでも癒しを感じてもらいたい、いつもお世話になっている地元地域に少しでも貢献させて頂きたいと思い、始めたのが地域の店舗の敷地をお借りして作庭したものがコンテナガーデンです。

ボランティアということもあり、材料費等すべて実費ではありましたがより多くの方に見て頂きたい、どのようなリアクションがあるかなど考えながら楽しみながら作成しました。日頃は一個人の施主様の思いに応える作庭をしています、自分の作るものが不特定多数の方に見ていただきたいと、より強く考えるようになったのは、一昨年に行われた信

州花フェスタに青年部の仲間と参加し作り上げた庭の感動と反響が大きく影響を受けていると感じています。

写真は、昨年の春・夏に製作された作品です。

現在のコンテナガーデンはバラ、クレマチス、縮根草を使用したコンテナが置かれています。

場所は、上田市の「ローソン上田真田店」です。お近くに来られる際はお立ち寄りください。



※ 3級トライアルを機に、原田さん、上野さんが所属する各事業所が造園連会員として佐久分会に加入していただきました。よろしくお祈いします。

佐久分会 新加入者 (敬称略)

(株) Raven	原田一平	佐久市小田井1056-11
庭水	市川真介	御代田町御代田2075-2